

令和2年3月6日 理事会

令和2年3月28日 評議員会

令和2年度

# 事業計画書

社会福祉法人 黎明会

特別養護老人ホーム オーキッド

## 法人理念

地域と共に歩む誠実な介護

## 基本方針

誠実な対応を心がけ、一人ひとりの思いを大切にします  
世代を超え誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献します  
専門性を磨き、働きがいのある職場づくりを目指します  
常に新たな介護ニーズに対応できるよう何事にも挑戦します

## 令和2年度 事業方針

法令を遵守しながら事業を推進し地域における介護の拠点を目指します。事業運営の安定と利用者への介護サービスの向上を目指します。

また、ボランティアや実習生等の受け入れ、施設内行事への地域の方々や家族等の参加など地域との連携に努めます。また、自施設のホームページの情報を適宜更新し、リアルタイムに必要な情報の発信に努めます。

## 施設経営計画

- ① 特養年間ベッド稼働率 98%を目指します。  
短期入所年間ベッド稼働率 98.5%を目指します。
- ② 損益を適正に評価し安定した運営を行う。

## 部門目標

### 【運営】

- ① 質の高い福祉サービスを提供する。
- ② 雇用の安定と人材の育成を行う。
- ③ 財務の安定を実施する。

### 【事務】

- ① 事務処理の適正化
  - ・個々が責任を持ち、財務・経理・給与・労務等の管理において、常に正確かつ迅速に処理を行い、事務処理を適正化します。
- ② 自己啓発・能力開発の実施
  - ・施設事務管理の中心としての自覚を持ち、新たに情報の収集・知識の獲得・能力開発に努め、従業員が業務を円滑に行えるよう努めます。
- ③ 支出の削減
  - ・コスト管理を行い、支出の見直しを行い経費の削減に努めます。実態に応じた支出を行い、無駄をなくし、施設の運営を健全に行えるよう努力する。

### 【特養相談員】

- ①相談援助
  - ・入所者様、家族様に対してコミュニケーションを図り、信頼関係が築けるよう努めます
  - ・入所者様の置かれている状況や、心理面を理解し、落ち着いた気持ちで過ごして頂けるよう精神的なケアや関わりを心がけます
  - ・各関係機関との連携を図り、信頼関係を築き、介護・医療・行政との関係強化に努める
- ②専門性の向上と能力開発

・相談員としての専門性を高め、施設運営を支えるとともに研修会に積極的に参加し、自己の能力開発に努めます

### ③稼働率の安定を図る

- ・スムーズに入所が行えるように随時面談を行い、待機者の管理を行ないます
- ・特養とショートステイの稼働が合わせて98%以上を維持するように、入院者の空きベッドを活用していく

## 【特養介護】

### ①ユニットケアへの取組み

- ・入所者様のこれまでの暮らしを大切に、施設でも家庭に近い環境が継続できるように整えていきます
- ・季節の行事計画を実施し、季節感を味わっていただき、クラブ活動や趣味の場を設けることにより充実した生活が送れるように援助していきます
- ・自己決定に基づき身体的、精神的に安定した生活を継続する為、24時間の流れに沿った援助を続けます
- ・10人を一つの単位として、ご家族様と職員が共に支えていき、安心感や楽しみがある雰囲気作りを実施します

### ②虐待防止

- ・入所者様の身体、精神状態に気を配り、家族様と職員が密に連絡を取り合い、開けた生活の場の提供を行います
- ・利用者様はもちろん、職員のストレスを蓄積させないように、相談しやすい環境づくりを行い、適切な人員配置を行います

### ③職員の質の向上

- ・施設内外の研修に積極的に参加し、その内容を職員間で共有しスキルアップに繋がります
- ・月1回以上のユニットミーティングを開催し、入所者の情報を共有する。また、職員それぞれの思いや考えを発信し実行します

## 【短期入所相談員】

### ①相談援助

- ・在宅での生活状況を聞き取り、家族様や関係機関と連携し、在宅生活を継続できるよう支援します
- ・利用者様、家族様のニーズや意向を尊重したプランを立案し実行します

・常に関係機関や家族様との連携に努め、相談や依頼をして頂きやすい対応を心がけます

#### ②稼働率の安定を図る

- ・緊急時や困難ケースにも柔軟に対応できる体制づくりを目指します
- ・ショートステイとして、毎月平均99%以上の稼働を目指し、部署間で連携し特養の空きベッドも有効に使用していきます

### 【短期入所介護】

#### ①個別支援、サービスの向上

- ・利用者様のプライバシーを配慮し、個々に合わせた援助をします
- ・四季折々の行事計画、イベント等の企画を立案し、余暇を有意義に過ごして頂ける雰囲気作りを行う

#### ②職員の意識、技術向上

- ・利用者様や家族様からの要望を汲み取り、快適な環境づくりに努めます
- ・常に利用者様の立場になって考え、身体的、精神的にも安定した生活を送ることができるように介護技術の統一とレベルアップを図る
- ・施設内外の研修に積極的に参加し、知識と技術の向上を目指します

### 【医務】

#### ①保健、衛生、医療

- ・生活上に起こるリスクを予測し、早期発見に努め、委託医と連絡調整に努めます
- ・利用者様の現状把握を行い、誠実な対応で家族様への連絡調整に努めます

#### ②感染予防対策

- ・施設全体の感染症発生を予防するため、スタッフへの感染症対策周知に努めます
- ・各種感染症の予防、発症時の対策として疾患別にマニュアルに基づいた対応を実施します

#### ③看取り対応

- ・利用者様、家族様、他職種と連携し安心して看取り介護が出来るように援助します
- ・看取り対応へのスタッフ間の認識を統一させるため、看取りカンファレンスを実施し、尊厳ある最期を迎えることが出来るように努めます

## 【栄養】

- ①安全な食事が提供されるように委託給食会社と連携をして衛生管理に努めます。また、ユニット職員と協力して食事レクリエーションを実施し、利用者様の満足度が上がるように努めます。
- ②利用者様の栄養状態を把握して、多職種で情報交換を行い、利用者様に適した食事を提供し栄養計画書に反映します。
- ③他職種やご家族に向けて、食中毒や嚥下についての情報提供を行ってまいります。

## 【介護支援専門員】

- ①利用者様の思いに寄り添い、個々に応じたサービス計画書の作成を行います
- ②利用者様、家族様が安心・安全に過ごして頂ける環境づくりを行います。

## 【会議・委員会】

入所者の多様なニーズや生命の保全を勘案し、下記の会議や委員会を行います。

会議・委員会	日時	目的
管理者会議	毎週	施設の運営会議を行う。幹部にて業務実績の報告や課題を討議する。苦情報告等。
全体会議	月1回	施設の運営に対して、各業務の見直しやサービス向上に向け話し合う。各部署間の連携を強化する。施設全体の教育・研修の立案と実施。
看取り会議	月1回	施設内の看取りにおいて検討する。
労働安全衛生委員会	月1回	職員の労働環境などを検討する。
介護リーダー会議	月1回	介護業務における業務の見直しを協議する。介護職員向けの教育スケジュールを立案し実施。
入所判定会議	月1回	入所の妥当性を明らかにするため、定期的に入所判定指針に基づき判定する。
リスク委員会 虐待予防委員会	月1回	事故・ヒヤリの検証。虐待や身体拘束事案を検討。
給食委員会	月1回	委託業者とともに、給食の改善点、希望などを検討。
感染委員会 褥瘡予防	月1回	入所者や職員に対して感染症等から少しでも被害が最小限となるため、未然に防ぐことを目的とする。

レク・行事委員会	月1回	定期的に行事を開催することで、日常生活において季節感と楽しみもっていただく行事の企画運営。
身体拘束廃止委員会	3ヶ月1回	定期的に入所者の身体拘束について話し合い、必要に応じて開催し、適時身体拘束について検討していく。

### 【施設内研修計画】

月	テーマ	研修目標	担当
4	事業報告・事業計画	昨年度の事業報告、今年度の事業計画を理解する	施設長 相談員
5	嚥下について		
6	感染予防研修（食中毒）	食中毒の種類や感染予防の理解を深める	管理栄養士
7	看取り	ターミナルケアの基本的な考え方、手順を理解する	
8	身体拘束廃止 リスクマネジメント	身体拘束がもたらす弊害と悪循環を理解し、より良いケアに取り組む	リスク委員
9	ユニットケア	利用者一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていける手法を学ぶ	介護主任
10	感染予防	インフルエンザ、ノロウイルスについて学び、まん延防止方法を理解する	感染委員
11	認知症ケア	認知症ケアについて理解を深め、日常のケアに反映する	認知症介護実践 リーダー
12	医療	介護施設における医療の重要性を理解し、日常ケアに反映する	医務
1	救急研修（AED）	救急の手順やAEDの使用方法を学び身につける	外部講師
2	身体拘束廃止 リスクマネジメント	リスクマネジメントの取り組み方を理解し、日常ケアのあり方を考える	リスク委員
3	レクリエーション技法	遊びながら生活の場でのリハビリ方法を学び実践する力をつける	介護リーダー